

お薬の上手な飲ませ方についてお話しします。

●はじめに

お子様が病気のとき、薬を飲ませるに苦労されておられませんか。子ども用の薬は、随分飲みやすくなっていますが、それでも味覚や食感に敏感なお子様は、嫌がって吐き出してしまいかもありません。頑張って飲もう、と思ってくれないのがつらいところ…。お子様に合った飲み方を見つけあげましょう。

●乳児の服薬

満腹では飲めないのです、授乳前に飲ませます。ミルク嫌いになると困るので、ミルクに混ぜないようにします。哺乳瓶の乳首に水で溶いた薬を入れて、哺乳瓶をけずに飲ませるのがお勧めです。哺乳瓶の乳首を嫌がる場合には、少しの水で、ペースト状に練って、きれいに洗った指先で、頬の内側少し奥か上顎に塗って、母乳がミルクを飲ませます。スポイトで垂らし、飲ませる方法もあります。

●離乳期・幼児の服薬

小皿、おちよこなどに水を入れ、粉



●学童期の服薬

薬をのせて溶かします。かわいいお皿を使うとままごと感覚になります。スプーン、シリンジタイプの注射器、スポイトで飲ませます。1回分の薬の袋の中に、スプーンで少量の水を入れ、かき混ぜて飲ませる方法もあります。飲んだ後に、好きなもので口直しをします。服薬ゼリーやオブラートを使うのもよいでしょう。

薬の必要性を本人に理解させましょう。確実に飲んだか確認する必要があります。錠剤が飲める小学生では、少量の水で口を湿らせ、舌の奥の方に錠剤を置き、水を飲ませます。口の中に錠剤が残っていないか確認します。水で飲めない場合、ゼリー、プリンなどなめらかな食べ物、服薬ゼリーを使うと飲みやすくなります。

●飲めないときの理由と対処

満腹で飲めない場合、食前投与にします。薬を食べ物や飲み物に混ぜるときは、見えないところで行います。すぐに吐く場合、1回に口に入れ

る量を少なくします。見た目を変えたり、ゼリー、ジャム、ヨーグルト、プリン、アイスクリーム、チョコクリーム、コンデンスミルク、ジュース、オリゴ糖シロップなどに混ぜてみましょう。アイスクリームは舌を冷やし、一時的に神経を麻痺させて味を感じにくくします。薬によっては、オレンジジュースや乳製品で苦味が強くなったり、薬効が落ちることもあるので、薬剤師からの情報に留意して下さい。

●おわりに

薬が飲めないと、つい叱ってしまいますが、ますます薬が嫌いになります。「病気を治すためだから頑張って飲もうね」「ばい菌をやっつける薬」という優しい言葉がけが大切です。上手に飲めたときには、しっかりとほめてあげましょう。ほめられるのは最高のご褒美で、頑張って飲めるようになります。困ったときには、医療スタッフ、薬剤師、保育士に相談してみてください。新しいアイデアが見つかるかも…。



野村 真二院長

平成22年9月に小児科開業、平成23年4月に病児保育室を開設。未熟児新生児医療の経験を生かして、心をこめて診療、子育て支援を行っています。

ところ・チャイルド・クリニック  
Cocoro child clinic

4階の病児保育室ちゅんちゅんもご利用下さい

お問い合わせはtel.082-848-6619まで

●診療日・時間

月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○
14:00~18:00	○	○	○	○	△

14:00~15:00に乳児健診、予防接種を行っています。  
△17:00まで 【林診日】日曜・祝日



DATA

広島市安佐南区伴南  
1丁目5-18-8-301  
西風新都ゆめビル

tel.082-849-5519

ACCESS

広電バス「ところ産楽団地」  
「ところ西公園」行き  
「ところ入り口」下車

